

# ごみ減量 もったいない MOTTAINAIかわらばん

秋田市環境部環境都市推進課 〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3

電話：866-2943 FAX：863-6683 E-mail：ro-evcp@city.akita.akita.jp

秋田市HP <http://www.city.akita.akita.jp/> くらし → ごみ・リサイクル・環境 → 環境都市推進課HP

発行

お総菜も、できれば量り売りを利用すると、パックのごみが少なく済みます。マイバッグを持って買い物へ行き、レジ袋を含む「ごみ予備軍」を作らず、どうしてもでてしまうトレイなどの包装は次の買い物のときに店頭回収を利用します。近藤さんは、買い物のときに発生する「便利だけれど減らせるもの」をなくす工夫をして、ごみを少なくしたいとしています。このほか、食パンが入っていた袋をすぐに捨てずにごみ入れに活用するなど、どうしてもでてしまうごみを再利用することで、新たなごみを減らす提案もしています。

スーパーでは包装された物をよく見かけますが、野菜などはバラ売りを利用して、ごみになるものを家に持ちこまない工夫をしようというのが、近藤さんの提案です。



## ライフスタイルを変えてみませんか？ ごみ減量アイデアコンテスト 受賞作品の取り組みを紹介

ごみを減らすのに R から始まる3つの言葉の頭文字をとった3Rという方法があります。3つのRとは、リデュース(＝発生抑制)、リユース(＝再利用する)、リサイクル(＝再生利用する)。この中で特に認知されているのは「リサイクル」なのではないかと思いますが、ごみをリサイクルするには、エネルギーなどを使うため、お金もかかります。資源は大切に使うべきですが、何でもリサイクルすればいいという考え方は、環境を大切にすることとは異なるものです。何度も使う「リユース」も、衛生面などで気遣いが多く、3つのRの中で減量に最も効果があるのは、最初からごみを出さない「リデュース」です。今回ご紹介している提案も、この「ごみになるものを作らない」ための工夫です。



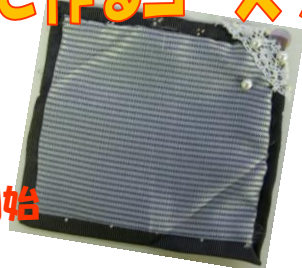
店頭回収されたトレイは工場に運ばれてリサイクルされますよ

### ごみ減量のおはなしと不用ネクタイで作るコースター講座

とき 平成26年1月16日(木)  
10:30~12:30

ところ にぎわい交流館AU研修室

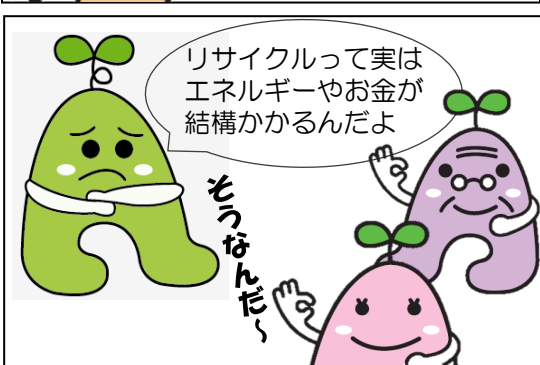
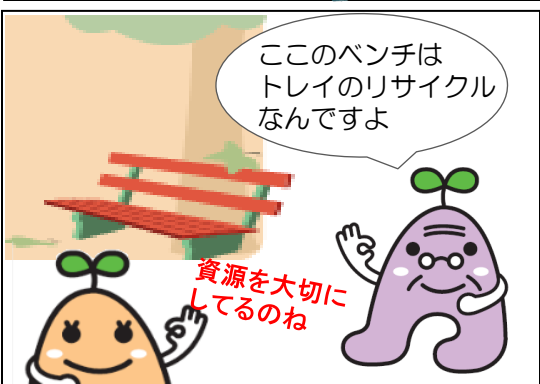
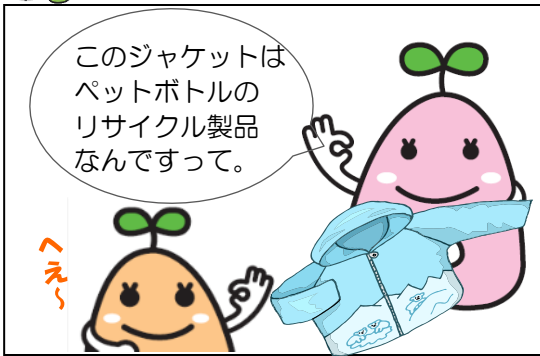
申込み 平成25年12月24日(火)から電話受付開始  
環境都市推進課 TEL018-866-2943



お父さんからいらさないネクタイもらわなくちゃ!



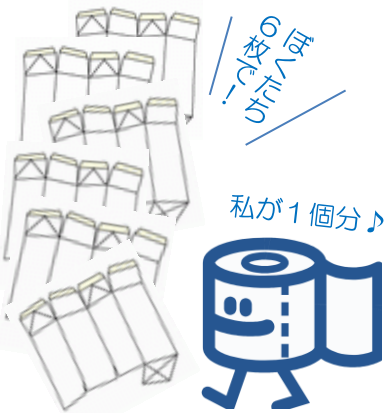
# 必見。「ごみの減らしかた」



## ごみ減量のコツその1 牛乳パック6枚はトイレットペーパー1個分!

牛乳パックを古紙回収に出すことができるのをご存知ですか。

秋田市古紙回収の種類は4つ。「新聞・チラシ」「ダンボール」「紙パック」「雑誌・雑がみ」です。例えば、牛乳パックは、6枚でトイレットペーパー1個分の材料になります。家庭ごみに入れるのはもったいないですね。



## ごみ減量のコツその2 マイ箸やマイボトルを持とう

外出時に、スーパーやコンビニエンスストアなどでお弁当を購入するときがあるかと思います。

お店の人に「お箸はいりますか？」ときかれて、もしマイ箸を持っていて使えたら、その分ごみが減ります。自宅やお店のごみとしてだけでなく、地球環境としてもごみを減らすことを考えていくことは、大切なことです。



ペットボトルは近年登場した便利なものですが、ごみとして運ぶ際やリサイクル工場へ運んで実際に再生利用するための工程で使用する際など、多くのエネルギーを使います。マイボトルを持つことで、それらを少し減らすことができれば、限りある資源を節約したことになり、小さくても地球温暖化対策の一環になると思います。

## ごみ減量のコツその3 ものを大切に長く使う

長く使うのは当たり前のことと思う一方で、すぐに捨ててしまう物も多いものです。気に入ったものを購入し、大切に長くつきあうことを心がけたいですね。



### ごみを減らしてやさしい街に

